

2022年9月27日
マックスバリュ東海株式会社

令和4年度革新的ロボット研究開発等基盤構築事業 ロボットフレンドリーな環境構築支援事業に採択 ～デリカ長泉工場に導入の惣菜自動盛付ロボットをブラッシュアップ～

マックスバリュ東海株式会社（本社：静岡県浜松市東区／代表取締役社長：作道 政昭）は、今年度の経済産業省の予算事業である「革新的ロボット研究開発等基盤構築事業（※1）」（以下、本事業）に採択され、一般社団法人日本惣菜協会（以下、日本惣菜協会）、パートナー企業とともに、本事業を進めてまいりますので、ご案内申し上げます。

日本惣菜協会は本事業の代表として、当社や惣菜製造会社と、課題解決のためのトップ技術を持つ企業とともに、ロボット・AIを実現場に導入し、ロボフレな環境構築事業を推進しています。昨年度は経済産業省の「革新的ロボット研究開発等基盤構築事業」により、惣菜盛付ロボットシステムの開発を行ってきましたが、今年度はさらに新たな作業工程に対するロボット開発、AIと量子コンピュータによる仕事量に応じた自動シフト計算に取り組めます。惣菜盛付ロボットにおきましては、現行3アイテム8SKUの盛り付けを行っておりますが、本事業を通じて6アイテム16SKUの製造に向け、取り組んでまいります。

当社は、この事業を通じて、多くの人手を要する全国の惣菜工場が直面する共通の課題解決に向け、多くのパートナー企業の力を借りて、取り組んでまいります。



マックスバリュ東海(株) 長泉工場（静岡県駿東郡長泉町）

想いを形に、「おいしい」でつながる。



マックスバリュ東海株式会社
〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1295番地1
URL <https://www.mv-tokai.co.jp>

【お問い合わせ先】
経営企画部 広報・IRグループ
TEL 053-581-7099

【A I・ロボット化推進事業の背景】

食卓においしさと栄養を添える惣菜は、今や国民の豊かな食生活に欠くことのできないものとなり、その市場規模は10兆円を超える産業となりました。しかし、惣菜産業を支える企業の大半は中小零細企業で占められており、生産性を向上し、良質・安全な惣菜を提供するためには業界の近代化・合理化が必要です。

惣菜製造において最も人手のかかっている惣菜盛り付け作業は、高い重量偏差、見た目の美しさが求められ、通常のロボット、ハンドでは実現が困難であり、実現するには、トップレベルのロボット制御技術、ハンド技術が必要となります。このような最先端の高度な技術が必要である中、惣菜製造企業の多くは中小零細企業であり、A I、ロボット、量子コンピュータ等に長けたエンジニアを有することは難しく、更に、低収益性の業種であるため、高価な設備を導入することも困難であるのが実情です。

【新しい合本主義とロボットフレンドリーな考え】

これらの課題を解決するため、惣菜製造で最も人手のかかっている惣菜盛り付け作業など、全惣菜製造企業が共通して困っている課題に対して、多くの企業がバラバラに重複した開発を行うのではなく、共通課題解決に必要な機能を実現するための要素技術において、トップクラスの技術を持つ企業に集まって頂き解決する。更に、技術の合本だけでなく、ユーザーの資本の合本により、開発費や設計費を折半し、一企業が負担する開発費の低減を実現します。

ただ、このようにトップクラスの企業が合本しても、ロボットがまだ人のような機微な動作ができないため、これまで解決できなかった課題を短時間で解決するソリューションを実現するのは、簡単ではありません。未熟なロボットでも使えるよう、様々なロボットフレンドリーな環境基盤の構築を進め、現場実装を加速します。

(※1) 経済産業省「令和4年度 革新的ロボット研究開発等基盤構築事業」(交付決定日: 2022年8月31日)

経済産業省では、人手不足への対応等が喫緊の課題となっている施設管理・小売・食品の分野にフォーカスをあて、食品分野で特に人手がかかっている惣菜製造において、ロボットにとって盛り付けしやすい盛り付け方法や、掴みやすい包装容器の在り方等、ロボットにやさしい環境、「ロボットフレンドリーな環境」を構築することを目的とするものです。予算事業の執行管理団体は一般社団法人日本機械工業連合会です。

想いを形に、「おいしい」でつながる。



マックスバリュ東海株式会社

〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1295番地1
URL <https://www.mv-tokai.co.jp>

【お問い合わせ先】

経営企画部 広報・IRグループ

TEL 053-581-7099

【今年度開発内容と企業名】

	内容	ユーザー企業 (五十音順)	ベンダー企業・協力企業 (五十音順)
	全事業統括推進	(一社)日本惣菜協会	
経 済 産 業 省	小型・廉価惣菜盛付・トレー供給ロボットシステム開発	(株)ベルク	(株)今里食品 (株)エクサウィザーズ
	惣菜盛付ロボットシステムエンハンス	マックスバリュ東海(株)	SMC(株) (株)FAプロダクツ
	産ロボ活用高速弁当盛付ロボットシステム開発	(株)ヒライ (株)ベルク	(株)エフピコ エプソン販売(株)
	容器蓋閉めロボットシステム開発	(株)デリモ	(株)オフィスエフエイ・コム
	惣菜製品移載ロボットシステム開発	カネカ食品(株) (株)ジャンボリア	(株)グルーヴノーツ コネクテッドロボティクス (株)
	注文量予測と現場作業者シフト表自動作成システムエンハンス	イケウチ(株) (株)グルメデリカ (株)八葉水産 マックスバリュ東海(株)	サトウ産業(株) セイコーエプソン(株) 中央化学(株)
	レンタル・リースモデル構築	(一社)日本惣菜協会	日本サポートシステム(株)
	容器・番重標準化検討	(一社)日本惣菜協会	三菱HCキャピタル(株)
	廉価ロボット構想設計	(一社)日本惣菜協会	(株)ヒロテック リスパック(株)
農 林 水 産 省	デジタルツインによる惣菜製造の生産性向上	(株)魚宗フーズ オーケーズデリカ(株) (株)三和製玉 (株)ジャンボリア (株)デリモ フレッシュ食品(株)	
	惣菜盛り付けの自動化	(株)関東ダイエットクック ブンセン(株)	

想いを形に、「おいしい」でつながる。



マックスバリュ東海株式会社

〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 1295 番地 1
URL <https://www.mv-tokai.co.jp>

【お問い合わせ先】

経営企画部 広報・IRグループ
TEL 053-581-7099